

仕入先から仕入を行った場合、システムに仕入入力することで仕入管理ができます。その後、顧客から注文があった場合、仕入れた際に定めたLOTNoを指定しての売上も可能です。仕入から売上の流れを以下に説明します。

■ 仕入処理

入荷・仕入処理（以下、仕入処理）とは、仕入先からの商品を入荷したときの入荷処理と、仕入計上を兼ねた処理で入荷で在庫計上したい場合や、仕入・買掛金管理したい場合は仕入入力で処理します。仕入処理にて営業在庫が増えます。

この時点では、主に仕入重量・数量を入力します。仕入金額や輸入経費は、確定していない場合は未入力のまま登録します。

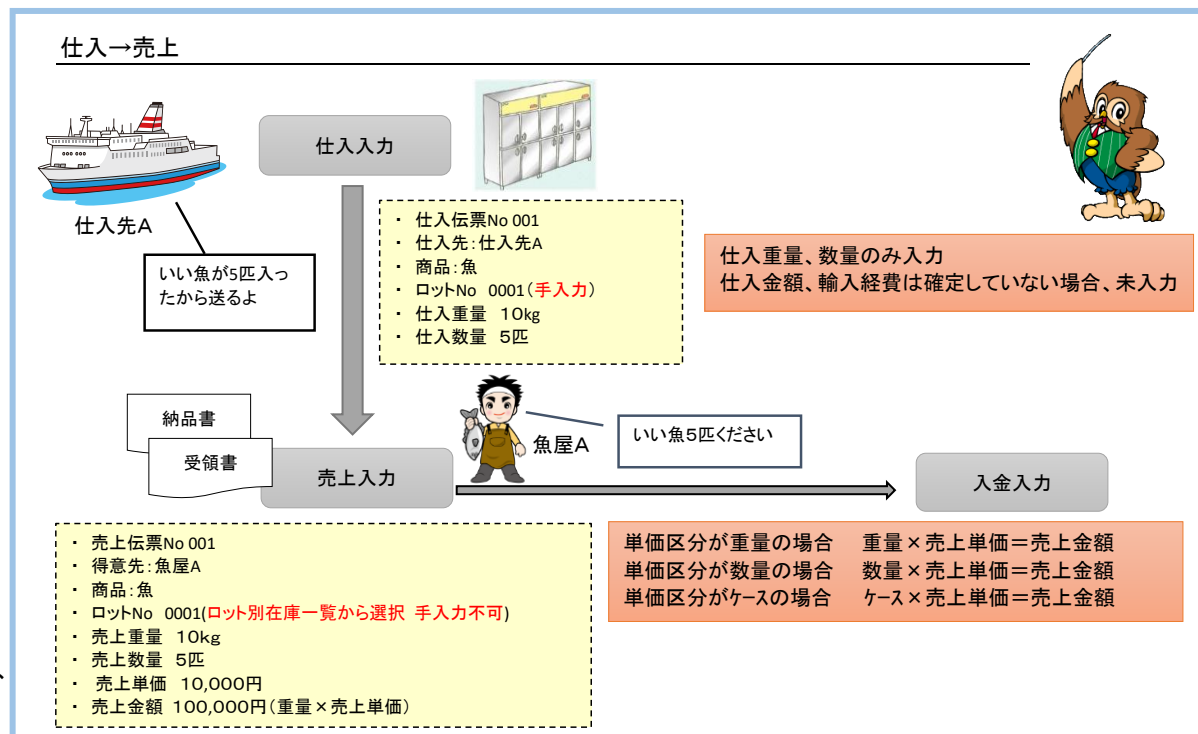
◆ 事前処理

仕入処理するためには以下の事前処理が必要となります。各操作マニュアルを参照して登録、設定をしてください。

- 仕入対象となる商品の登録、単価の決定
- 仕入先の登録

◆ 仕入入力

仕入データを入力するには、「仕入管理」タブの「仕入入力」で処理します。※伝票入力操作概要は「伝票入力、検索画面の基本操作」、または操作マニュアルを参照してください。



◇主要項目の補足説明

- 計上チェック・・・ OFFで登録すると仕入計上はされず在庫のみ増加します。後に修正でONにすると仕入計上もされます。
- 仕入日・・・仕入計上日となります。月締めの仕入先の場合仕入日で締日も自動決定されます。

※実際の入力方法や各項目の説明は操作マニュアルを参照してください。

■ 売上入力

売上入力では、得意先の売上を入力し、売上傳票を作成します。
仕入時に定めたLOTNoを指定して売上することができます。

◆ 事前処理

- 売上入力するためには以下の事前処理が必要となります。
各操作マニュアルを参照して登録、設定をしてください。
- ・ 売上対象となる商品の登録、単価の決定
 - ・ 得意先の登録

◆ 売上入力

売上データを入力するには、「売上管理」タブの「売上入力」で処理します。
※伝票入力の操作概要は「伝票入力、検索画面の基本操作」、
または操作マニュアルを参照してください。

得意先を選択して新規モードで画面を開き処理してください。
必要な情報を入力し、登録ボタンで更新されます。

◇主要項目の補足説明(販売品の売上処理の場合)

- ・ 売上日・・・売上計上日です。
各処理から自動売上された場合は、各処理毎に決められた日が自動採用されています。
売上日と得意先の締日設定により請求締日は自動で決定されます。

即時発行は、「システム管理」タブの「伝票機能設定」メニューの売上設定にて、「即伝発行を行う(納品書)」がチェックOnの場合に有効となります。

即伝発行を行う(納品書)

※実際の入力方法や各項目の説明は操作マニュアルを参照してください。